



江戸川区立松江第六中学校



学校だより

令和8年6月4日 第3号

江戸川区立松江第六中学校

校長 小野満 賢

今こそ本気を出す～忙しさをエネルギーに変えて

校長 小野満 賢

初夏のまぶしい光とともに、校庭の木々の緑も一段と青さを増しています。

5月は、特に3年生にとって非常に密度が濃く、ハードなスケジュールでした。

5月19日からの修学旅行では、30℃をゆうに超える奈良・京都で、汗だくになりながらも仲間との絆を深め、学校生活最大の思い出を作ることができました。暑かったのも混んでいたのもよく歩いたのも、最終日の大雨も一生に一度の貴重な修学旅行の大事な1ページです。そして、その余韻も冷めやらぬ5月30日には、全力を尽



くした運動会が開催されました。準備期間が短い中で、最高学年としてのリーダーシップを遺憾なく発揮し、行事を大成功へと導いた3年生の姿は、下級生の大きな手本となりました。「今の3年生にならできる」と見込んで計画された大きな行事を、立て続けにやり遂げた生徒たちの表情には、確かな充実感と頼もしさが満ち溢れています。その3年生の背中を追いかけ、全力で声援を送り、共に運動会を作り上げた1・2年生の姿もまた、立派でした。先輩たちの本気の姿から、多くのことを学んだはずですが、これからの部活動や学校生活でも、3年生が築いてくれた素晴らしい伝統を間近で感じながら、全校で高め合っていけることを期待しています。

息をつく間もなく6月を迎えましたが、ここからの時期もまた、生徒たちにとっては「忙しさ」の連続です。3年生にとっては部活動の集大成となる夏の総体予選が控えており、熱のこもった練習が続いています。同時に、進路への第一歩となる定期考査に向けた学習にも、本格的に取り組まなければなりません。



「あれもしなければならぬ、これもしなければならぬ」と予定が重なると、心に余裕がなくなってしまうがちです。しかし、この「忙しさ」は、見方を変えれば、それだけ充実した日々を送っている証拠であり、自分をさらに大きく成長させるチャンスでもあります。5月の過密な日程を、見事に乗り越えてみせた今の生徒たちなら、この忙しさも必ず前向きなエネルギーへと変えられるはずです。

複数の物事を同時に進め、限られた時間の中で優先順位をつける経験は、将来社会に出てからも役立つ「生きる力」そのものです。ただ流されるのではなく、「今、何のために頑張っているのか」という目的意識をもつことで、集中力も増し、徐々に効率も上がっていきます。

また、大切なのは、忙しさに「振り回される」のではなく、忙しさを自らの意志で「コントロールすること」です。つまり、「今日は2時間数学の勉強を頑張る」「明日の部活の練習はここに集中する」というように、自分自身が自分のやるべきことに優先順位をつけて一つひとつクリアしていきましょう。その一步一步が、みなさんの経験値となり、将来の大きな武器になります。

もちろん、限界まで無理をする必要はありません。疲れた時は先生や家族、友だちを頼ってください。

思い切って何もしない日を設けてもいいかもしれません。総体もテストも、悔いの残らないよう、みんなで励まし合いながら前を向いて突き進んでいきましょう。自分だけが大変なのではないのですから。

5月の行事を乗り越えて、一回り大きく強くなった3年生なら、この6月もきっと最高の形で締めくくってくれると信じています。

このように過密な日々の中で全力を尽くそうとすると、『頑張る姿を見せるのは恥ずかしい』『冷めている方が格好いい』と感じる瞬間はないでしょうか。実は私にも、中学生のころそんな時期がありました。「本気でやっとうまくいかなかったら恥ずかしい」と思うことも多々あったような気がします。

でも、運動会での様子を見て改めて皆さんに伝えます。「本気の姿」が何よりも格好いいのです。



本気を出すとは、結果にこだわることだけではありません。勉強でも部活でも、余計な雑音を捨てて「今、目の前のことに100%集中する」ということです。心理学では、この状態を『フロー』と呼び、人間が最も充実感を得られる瞬間だと言われています。自分の本当の限界を知り、それを越えたとき、自分の世界や可能性はグッと広がります。たとえ失敗しても、本気で挑んだ悔しさは次へのエネルギーになります。本当に格好悪いのは、失敗を恐れて最初からブレーキを踏むことや、周りの目を気にして挑戦すらしめないことです。

学校は、いくらでも本気で挑戦し、いくらでも失敗していい場所です。生徒たちが自分の殻を破り、本気を出すことの本当の気持ち良さに出会えるよう、教職員一同、全力で応援していきますし、一人ひとりの変化に目を配り、適切な支援を続けていきます。

ご家庭でも、ハードな日々を送り続けるお子様の体調管理や、温かい励ましのサポートをいただけますと幸いです。

修学旅行（3年生）5／19（火）～21（木）奈良・京都

「めっちゃまっちゃえんじょい！ 古都から学べ～八ッ橋を添えて～」のローガンのもと、3年生が2泊3日の修学旅行を無事に終えました。

1、2日目は日差しも強く暑い中での行程となりましたが、奈良の法隆寺や東大寺の迫力に圧倒され、夜は二月堂での幻想的な景色を楽しみました。京都ではバスの混雑に苦戦する班もありましたが、仲間と協力して臨機応変に行動する姿が頼もしかったです。



最終日はあいにくの雨となりましたが、タクシー行動で京都の魅力を時間いっぱい満喫しました。大きなトラブルもなく、歴史に触れ、体験学習を通して絆を深めた3日間。八ッ橋のように味わい深い、一生の思い出ができました。この旅で学んだ『仲間との協力』や『臨機応変に動く力』をぜひ今後活かしてほしいと願っています。一回り成長した皆さんのこれからの活躍が楽しみです。

（文責：担当 岡島 瑛樹）



出発式（東京駅）



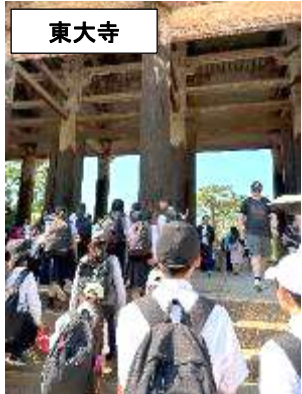
新幹線車内



法隆寺



法隆寺



東大寺



東大寺



鹿と戯れながら班行動開始



飛鳥荘



夕食&入館式



二月堂ナイトワーク



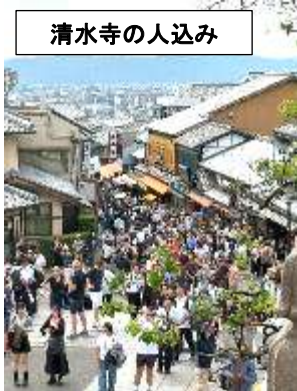
朝食&退館式



朝から豪勢なメニュー



興福寺→班行動



清水寺の人込み



ひふみ旅館入館式



すき焼き（部屋食）



ものづくり体験



タクシー一班行動



解散式（東京駅）

第51回 運動会 5/30（土）



雲一つない青空の下、51回目の運動会が行われました。この日は太陽が照り付けていましたが、湿度も低く、少し強めの風も吹き、テントに入れば涼しいくらいの絶好の運動会日和でした。

副実行委員長の くんの開会宣言に続き、実行委員長の くんから、今まで実行委員についてきてくれたことへの感謝の気持ちと、この運動会を成功させようという強い気持ちが示されました。さんと くん
の選手宣誓が真っ青な空に高らかに響き、今日の成功を予感させます。校長からは毎年のことながら「全力」で挑むことを伝えました。

その期待通り、演技や競技に出場する選手はもちろんのこと、係生徒のきびきびした動きや、学年を超えて一生懸命に応援する生徒の「全力」の姿が一日を通して見られ、引き締まった素晴らしい運動会になりました。昨年からはまった色別対抗の「竹取物語」「君の縄（綱引き）」「かごいっぱいになあれ（玉入れ）」も改良が加えられ、白熱する接戦となりました。これも2年目となった生徒会種目は、今年には運動部がチーム対抗の本気のレース、文化部は借り物競走を行い、生徒は大いに盛り上がっていました。3年生は途中で修学旅行を挟みましたが、三週間の取組の成果が表れ、リレーのバトンパスや、学年種目の「台風の目」「大縄跳び」「大百足」が、とても高いレベルで競い合っていた印象を受けました。実行委員が振り付けを考え、事前に朝学習の時間に各クラスに説明に行くなどして取り組んだ「Cheer time」は本番が今までのどの練習より声が出ていました。各学年の全員リレーと色別対抗リレーは会場が一体となった大声援の中、それぞれの生徒が自分のベストの走りを見せてくれました。改めて全力で走ることのカッコよさと、凸凹をカバーし合う団結力の素晴らしさを感じました。

力作ぞろいの横断幕はどのクラスも個性あふれるもので、パレードの際には多くの観客から写真のポーズのリクエストの声がかかり、係は満面の笑みで応じていました。

閉会式では生徒会長・ くんからの挨拶に続き、成績発表・表彰が行われました。最後は くん
の開会宣言で今年の運動会の幕を閉じました。

約1時間押しの運動会となりましたが、その後係の生徒が疲れているにもかかわらず、一生懸命に片付けをしてくれました。

ご協力いただきました、PTAの皆さん、保護者・地域の皆さん、ありがとうございました。
また、周年に係る生徒用のテントの寄贈につきまして、心より感謝申し上げます。



松江六中第51回運動会スローガン 「三種の全～全力で全員で全身を使い競い合う～」

入場行進



実行委員長挨拶



選手宣誓



競技場の注意



準備体操



3年女子短距離走



3年男子短距離走



障害物競走



2年女子短距離走



2年男子短距離走



竹取物語（棒引き）



二人三脚





1年女子短距離走



1年男子短距離走



3年全員リレー



2年全員リレー



1年(台風の日)



横断幕パレード



君の縄(綱引き)



生徒会種目



Cheer time 赤



Cheer time 青



Cheer time 黄



かごいっぱいになあれ(玉入れ)



1年全員リレー



2年(大縄跳び)



3年(大百足)



色別対抗リレー



生徒会長挨拶



成績発表



横断幕の部表彰



競技の部表彰



校歌斉唱



閉会宣言



「横断幕」各クラスの力作をご覧ください



1-1 「我ら鬼神」



1-2 「ギリギリ君 一球入魂」



1-3 「一致団結」



2-1 「胆勇無双」



2-2 「勇往邁進」



2-3 「神速無双」



3-1 「烈火奮迅」



3-2 「疾風迅雷」



3-3 「蜂起雲湧」

【第51回 運動会結果】

	1年	2年	3年	色別
優勝	1組(赤)	3組(黄)	3組(黄)	黄
最優秀横断幕	3組	2組	1組	

運動会実行委員 (◎実行委員長、○副実行委員長)

(敬称略)


	1組	2組	3組
3年	◎	○	
2年			
1年			

横断幕係 (☆係長)

(敬称略)

	1組	2組	3組
3年	☆	☆	☆
2年	☆	☆	☆
1年	☆	☆	☆

開会式
司会
開会宣言
実行委員長挨拶
選手宣誓
競技上の注意
準備体操

閉会式
司会
閉会宣言




ポロシャツの着用が可能になりました

生徒会本部役員がらの粘り強い要望が通りました

- ・運動会終了後6月～10月にかけて、暑さ対策を目的としてポロシャツの着用を認めます。
- ・色は「紺」または「白」の単色で半袖のものです。
- ・胸ポケット付きは可としますが、襟ボタン・ワンポイント・ライン入りのものは不可とします。
- ・第1ボタンは開けても構いませんが、シャツの裾は、スカートまたはスラックスの中に入れて着用します。